

● 音読の くふうを書きましよう。

音読のくふう

よが あけました。

あさの ひかりを あびて、

竹やぶの 竹の はっぱが、

「やわかったね。」

「うん、やわかったね。」

音読のくふう

音読のくふう

と ささやいて います。

雪が まだ すこし のこって、

あたりは しんと して います。

どこかで、小さな ニエが しました。

「よしよし、よしよし。おわたいな。」

竹やぶの そばの ふきのとうです。

雪の 下に あたまを 出して、

雪を どけようと、ふんばって いる ところです。

「よしよし、よしよし。そこが 見たいな。」

音読のくふう

たいていだと おもった 音読の くふうを 書きましよう。